

## 連載 『ビジネスに活かすリーダーシップ』

### 第1回 いまなぜリーダーシップなのか

#### ■連載開始にあたり

組織が健全に強くなり、不確実性や環境変化に耐えるために「優れたリーダー」が必要であることは言を俟たないと思います。これは現代のみならず、古来からそうだったとも言えるでしょう。そして、そのリーダーが適切なリーダーシップを持つべきことを期待されていることについても、異論を唱える人は少ないでしょう。

しかし、その要件については、基本的に変わらぬ部分が大半であったとしても、必要とされる資質が、時代とともに少しずつ変化しているのではないのでしょうか。今日的なリーダーシップを考えると、この問題の考察を避けて通ることはできません。

社会全体、世界全体を見渡すと、知識社会の発展とともに組織のフラット化が進む一方、グローバル化の波がボーダーレス化を同時に推し進めています。これらを、程度の差こそあれ、多くの組織が受け入れざるを得なくなっています。

こうした大きな環境変化を前に、過去を振り返りつつ、今日的なリーダーシップの要件を整理し、「できるだけ多くの人が、それぞれの立場でリーダーシップを理解すること」は、困難な課題に立ち向かう組織にとって極めて重要なテーマなのです。

#### ■リーダーシップの必要性

社会の複雑化・不確実性が高まっている今日、多くの組織は「メンバーが主体性を持って考え、自立的に動くこと」を求めています。上司からの指示待ちではなく、管理職も一般職も「自分の考えに基づき、行動を起こし、周囲の人に影響を与えていくこと」が必要となっています。

変化の激しい今日、部署や組織の枠を超えて自らネットワークを構築し、問題解決を図らねばならない課題が山積みです。ここで求められるのは、上下の力関係に基づく権限の行使ではなく、「リーダーシップで他者や組織を動かすことができる人材」です。

組織に組織図がある限り、組織の壁はなくなりませんし、組織図をなくす必要もありません。この横方向の壁をも軽々と超え、向こう側にいる人たちとシームレスにコラボレーションできる、といった人材が求められているのです。

このようなリーダーシップを発揮するスタープレイヤー的リーダーが少数いるだけの組織も良くありません。組織のメンバー全員が組織上層部のリーダーに寄りかかるのではなく、リーダーシップを発揮する存在が組織内のあちらこちらで必要になるのです。

リーダーとは、指導者、先導者、統率者、指揮官などの地位を指しますが、リーダーシップとは、指導者の(地位を含めた)職務能力、統率力、資質などを指します。要するに、組織の状況に対して、あるいは組織内で相互に、「影響を与えるもの」ともいえます。

## ■「リーダーシップ論」とはなにか

ここで、「リーダーシップ論」と呼ばれている概念について簡単に見てみたいと思います。この概念はいくつかの領域で議論されています。

ひとつはアカデミックの世界で論じられているものです。リーダーシップに関する理論の歴史は意外に長く、その系譜をどこまで遡るかにも依りますが、マキャベリやマックス・ウェーバーまで視野に入れる場合があるといえば、そのイメージは持てるかと思います。

次に、組織でのリーダー養成用に独自に開発されるものです。これは士官学校のカリキュラムなどに用いられるものや、企業内スクールで用いられるものなど、組織の目的や特性などにより、さまざまな論が存在します。

いまひとつは、ビジネスで成功した経営者や、政治やスポーツの指導者などが持論を展開するものです。理論的に整理されたものというよりは、物語や伝記的内容となりがちで、時にはただの自慢話の場合もあります。しかし、意外に共感を呼ぶことが多いのは、この領域のものであることも事実です。

何れの領域を取り上げるにしても、本連載ではビジネスマンへ示唆を提供することを優先します。具体的にはリーダーとしての視座や、リーダーシップを発揮すべきケースに導くため、毎回、理論の枠組みを前提にテーマを選んで行きたいと考えています。ただし、「論者の数だけ理論が存在している」といわれる「リーダーシップ論」のすべてをカバーするつもりもありません。

## ■次回予告

今回は、知識社会におけるリーダーの姿を早くから指摘していた経営学の大家ピーター・F・ドラッカーです。

ドラッカーの「実践なき理論は空虚である。理論なき実践は無謀である。」という言葉はとても有名ですが、本連載もこの名言の精神に沿って続けて行きたいと考えています。

株式会社インソース <http://www.insource.co.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-19-1 神田橋パークビル 5階

TEL : 03-5259-0070 FAX : 03-5259-0075